

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

事業所名 ハッピーテラス上尾駅前通り

		チェック項目	はい	いいえ	該当なし	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100.0%	0.0%	0.0%	サーキットを全員で使えるようにし、広く活動できるようにしております。	
	②	職員の配置数は適切である	85.7%	14.3%	0.0%	基準人員以上のスタッフを配置しており、質の高い療育の提供を心がけております。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	85.7%	14.3%	0.0%	トレーニングルームには必要以上の掲示物などはしないようにしております。階段に手すりを設置しております。席の配置や環境設定など、事前に話し合ってお工夫しております。	ロッカーに個人のマークを付けたリ、時計に印をつけるなど視覚的に分かりやすい環境設定をしております。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100.0%	0.0%	0.0%	基本的な清掃は毎日実施をし、空気清浄機の設置など加え清潔空間を保つようにはしています。また、冷温の飲み物をご用意し、皆様が心地よく過ごせるようにしております。室内のレイアウトや装飾面においても、季節に合わせて心地よく過ごせる工夫をしています。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	100.0%	0.0%	0.0%	日々の終礼での報告以外にも、個別支援会議を実施し、面談後は内容の共有を行っています。運営規定及び運命方針を念頭に、全職員が運営改善に関わり、PDCAサイクルにより業務改善・品質の向上に努めています。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100.0%	0.0%	0.0%	2024年11月にアンケート用紙をお配りし、集計結果を職員間で共有しました。	この結果を元に業務改善に努めます。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	85.7%	14.3%	0.0%	毎年HPにて公表しております。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	71.4%	14.3%	14.3%	必要に応じて実施していく予定です。現時点では行っていません。	
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100.0%	0.0%	0.0%	本部の企画する研修の他、事業所内でも月に一度勉強会を行っています。外部で開催される研修にも、今後更に積極的に参加していきます。	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100.0%	0.0%	0.0%	弊社で開発したアセスメントツールの活用と、子ども本人の発達等の状況や家族・地域社会の状況、子どもや保護者の意向を適切に把握することで、個別に合わせた計画の作成に努めています。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	85.7%	0.0%	14.3%	現在ハッピーテラスでは、明星大学教授・竹内先生に監修を頂いたアセスメントツール等を利用して、来所されるお子様たちの適応行動を図っています。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100.0%	0.0%	0.0%	児童発達支援計画は保護者へのアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を職員全員で客観視に分析した上で、子どもが家庭や地域社会における生活を通じて、様々な体験を積み重ねられるよう考慮しています。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100.0%	0.0%	0.0%	子どもたちへのより質の高い効果的な支援の実施に繋がるよう、児童発達支援計画に基づくチームアプローチを実践し、トレーニングを行っています。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	100.0%	0.0%	0.0%	利用予約状況から、その日に利用する子どもの児童発達支援計画に基づき支援経過状況や課題等を考慮し、個別の担当や集団メインスタッフがプログラムを考案し、それをともにチームで検討を行っています。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100.0%	0.0%	0.0%	お子様の様子を観察し、楽しんでトレーニングに参加できるよう、毎回考慮し進めております。	

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

事業所名 ハッピーテラス上尾駅前通り

チェック項目		はい	いいえ	該当なし	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	100.0%	0.0%	0.0%	子どもの発達の状態及び、発達の過程・特性等並びに保護者の意向等を踏まえ、個別活動と集団活動を取り組みを適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しています。	
	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100.0%	0.0%	0.0%	支援にかかわる全職員にてトレーニングの内容や子どもの様子を共有し、共通理解部共通認識の元、チームで支援効果を高めることが出来る用努めています。	
	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100.0%	0.0%	0.0%	支援にかかわる職員にて振り返りを実施し、多角的に気づきを共有し、次回からの支援に繋げています。	
	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100.0%	0.0%	0.0%	児童発達支援計画に基づく支援に対する記録を基本に、その日の状況等を毎回詳細に記録しています。	
	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100.0%	0.0%	0.0%	定期的なモニタリングに併せ、上記の支援記録の評価を根拠に、全指導員、児童発達支援管理責任者で話し合いながら児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しています。	
	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100.0%	0.0%	0.0%	担当者会議に参加する際には、より関わりの深い職員が参加しております。	
	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	100.0%	0.0%	0.0%	発達検査や心理士との話し合いはその都度保護者の方から共有してもらっていますが、母子保健やお子様・子育て支援等の関係機関と連携した支援ができる体制設備が整うように努めてまいります。	
	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	14.3%	14.3%	71.4%	対象となる児童がいないため現状では連携を図っておりませんが、医療機関と連携体制は整えております。	
	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0.0%	14.3%	85.7%	対象となる児童がいないため現状では連携を図っておりませんが、医療機関との協力医療連携体制は整えております。	
	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100.0%	0.0%	0.0%	発達検査や心理士との話し合いはその都度保護者の方から共有してもらっていますが、母子保健やお子様・子育て支援等の関係機関と連携した支援ができる体制設備が整うように努めてまいります。	
移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	85.7%	0.0%	14.3%		月次短信等を作成し、情報共有を図っています	
他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	85.7%	14.3%	0.0%		必要に応じて相談や訪問での情報共有等を行っております。今後、研修への積極的な参加を含め、各専門機関との連携強化に努めていく方針です。	
保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0.0%	85.7%	14.3%		ほとんどのお子様が保育園・幼稚園に通っている為、療育の時間内に障害のないお子様と触れ合う時間は設けておりません。今後要望があれば検討していきます。	
（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	100.0%	0.0%	0.0%	職員が参加し、情報を共有しております。		
日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100.0%	0.0%	0.0%	毎回保護者の方に見ていただき、近況の状態やお子様の発達・課題について話をする時間を設け、共通理解を図るように努めています。		
保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	14.3%	42.9%	42.9%	ペアレントトレーニングを称したトレーニングは行っておりませんが、毎回の利用時に保護者様と時間を確保し、お子様への対応についての相談・支援を行っております。		
運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100.0%	0.0%	0.0%	ご契約を頂いた際に、お子様や保護者様が児童発達支援を適切かつ円滑に利用できるよう、丁寧に説明をするよう努めています。疑問点があれば対応職員の方ですぐに対応できるようにもしております。		

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

事業所名 ハッピーテラス上尾駅前通り

	チェック項目	はい	いいえ	該当なし	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	㉑ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100.0%	0.0%	0.0%	児童発達支援計画の内容は児童発達支援ガイドラインに即した内容ですが、保護者に対する説明では、児童発達支援ガイドラインを示しての説明は実施しておりませんでした。再度職員への児童発達支援ガイドラインの内容の周知を行い、今後実施していきます。	
	㉒ 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100.0%	0.0%	0.0%	毎時間保護者様のフィードバックの時間に、職員が相談を受け、助言や援助を行っております。	
	㉓ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0.0%	71.4%	28.6%	2019年12月に保護者向け座談会を行いました。今後も保護者同士の連携を支援していきます。	
	㉔ 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100.0%	0.0%	0.0%		お子様や保護者の方が悩みを一人で抱え込まないように、相談には適切に応じ、信頼関係を築くことができるように努めております。今後は専門的な助言ができるように努めてまいります。
	㉕ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100.0%	0.0%	0.0%	前月に出席表をお配りし、イベント等は別途手紙やポスターで告知しております。	会報として発行はしていませんが、連絡事項等については書面にてお知らせしています。また、活動内容についてはブログなどに掲載しておりますが、十分な活用には至っていない為見直ししていきます。
	㉖ 個人情報の取扱いに十分注意している	100.0%	0.0%	0.0%	職員が業務上知り得た情報を漏らすことがないよう、雇用契約に明記するなどの措置も講じています。書類等も鍵付きキャビネットにしまっ、PCにもパスワードを掛ける等の対策もしております。	
	㉗ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100.0%	0.0%	0.0%	必要に応じて実施しています。	
	㉘ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	71.4%	14.3%	14.3%	イベントの際に地域の方と関わる機会を設けております。	
非常時等の対応	㉙ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	100.0%	0.0%	0.0%	マニュアルを作成し、掲示も行っております。2020年1月には消防署の方のご指導の元訓練を行いました。今後も計画的に進めてまいります。	
	㉚ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100.0%	0.0%	0.0%	地震を想定したサーキット運動を実施するなどお子様の理解促進にも努めています。	
	㉛ 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	85.7%	14.3%	0.0%	ご利用前のお電話の時点で確認させていただいております。予防接種については短時間通園の為、確認は必須とはしていません。	
	㉜ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	71.4%	0.0%	28.6%	医師の指示書が必要な児童は現時点ではいません。普段のトレーニングでは食事提供の機会がないため、飲食があるイベントの前に親御さんに確認させていただいております。	
	㉝ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100.0%	0.0%	0.0%	ヒヤリハット報告書作成時には、即座に職員及び管理者に共有を図っております。	
	㉞ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100.0%	0.0%		年に一度社会福祉協議会が主催する虐待防止研修に参加し、全職員へ共有を図り、チェックリストを実施する等努めております。	
	㉟ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	100.0%	0.0%	0.0%		組織的に決定し、契約時に同意を得るようにしていますが、児童発達支援計画に記載はしていないため今後記載をしていく予定です。

※この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。